

福知山市水害における災害ボランティア活動報告書

2014.08.29

台風11号、12号、秋雨前線による水害は四国、山陽、山陰、北陸等多くの府県に及びました。被災した皆様には心よりお見舞い申し上げると共に犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

8月24日(日)AM4時参加者6人で御前崎市を出発午前9時前に福知山市災害ボランティアセンター(ボラセン)へ到着しました。行く途中福知山市役所付近の店舗や住宅前には濡れた家具や事務機などがまとめて外に出されていました。福知山市は市街を中心に床上・床下浸水した建物は1千棟を超えています。

ボラセンの場所は福知山市内の三段池公園にある武道館前のテントが受付でした。すでに200人以上の人たちが受付やマッチングを待つ人であふれていました。受付を待つ間に自分たちが受け入れる時のことを考えどのように運営しているのか見させていただきました。

まず、JC(青年会議所)専用の受付があったことにはびっくりした。

8月9日に静岡市で災害ボランティア、JC、社会福祉協議会との連携を話し合ったばかりだったからです。顔の見える関係づくりを推進するために平常時から互いにつながりをもつ活動をしていくためです。今後大いに参考にすべきで訓練時にはJCにも参加してもらおうと思います。



マッチングはテントの裏に150人分のパイプ椅子を並べ前から順に座り、必要人数に合わせて挙手をする一般的な方法だった。

パイプ椅子をきっちり整列させてあり前が抜ければ後ろから詰める動きがスムーズに流れていました。ボランティアの数は時間を追うごとに増えているにも関わらずスタッフの動きは機敏にマ

atchingをしていました。この動きも参考にしたい一つでした

私たちも20人グループになり興(オキ)地区公民館へ向かいました。公民館では町内会長が待ち受けていて被災者宅を案内してくれました。ボラセンと町内会長との連携も上手くいっていました。活動内容は傾斜面で土砂崩れのあった2軒の泥かきでした。その内の1軒を私たち6人が担当しました。一時的に庭の

隅にブロックを並べその中に積んである流れ込んだ泥を土のうに入れ通路に出す作業でした。泥は雨にぬれ粘りが強くスコップを入れると吸い付いて持ち上がらないほどでした。



それでも2時間ほどで泥はなくなりブロックも取り除ききれいな庭砂利に戻すことができました。そのお宅のおばあちゃん（推定85歳）は「今まで住んでいてこんな雨は初めてでまさか土砂が流れてくるとは思いませんでした」と話してくれました。

作業中（午前11時頃）「大雨注意報」が発表されました。「傾斜地に住む人は避難準備をしてください」と同報無線が流れました。雷も鳴り心配しつつ活動を続けましたので公民館へ戻り早めの昼食にしました。午後の活動は残りの14人が一方のお宅の泥かきがまだ終わっていないので続けることになりました。雨も本ぶりになったため班長（大阪市）が継続の判断をボラセンに問い合わせると参加者で決めてほしいとの回答でした。14人の決断は午後も続けることになりましたが、私はとても迷ったのですが、私たち6人は活動も一段落して車の中で待機することにしました。



《待機した理由は》

- 1つ目は傾斜地で避難準備の放送があった場所だったため雨が続けば2次土砂災害の危険があった。
- 2つ目はカップを持参するように指示していなかったため汗をかいた体に雨で濡れ活動終了後数分で低体温症になる可能性があった。
- 3つ目は私たちが雨の中で頑張ってしまうと被災者宅の人まで頑張ってしまう。

【反省点】

- 皆で続けるか相談する際にもっと強く危険性について話をして午後からの活動は中止にするべきだった。
- 班長（大阪市）含む14人は若い人たちが多かったせいか「やりたい」の勢いの声につい負けてしまった。はっきりやめようと言えなかった。
- 通常雨が降れば平地での活動でもボランティア活動は中止することが多いが、傾斜地だったということをもっと警戒するべきだった。（ボラセンは地形の配慮をしなかったと思う）。
- 2次災害が起きればボランティア活動自体が問題視されてしまう恐れがあることを肝に銘じておきたい。

私は車の中から無風状態の傾斜地に立つ森の木が少しでも揺れないか？ずっと見ていました。午後2時前サイレンが鳴ったことを2時過ぎのエリアメールで知りました。私は雨の音でサイレンが鳴ったことに気が付きませんでした。やっぱり危険だったと感じました。

さて、活動を終え帰りに福知山城を見学に行きました。お城の駐車場に行き初めて浸水の状況がはっきり分かりました。駐車場の公衆トイレは高さ1.2Mほど水に浸かったあとがあり使用禁止のテープが張られていました。お堀の周りの遊歩道や生け垣には泥とゴミが残ったままになっていて近所のお宅は家具を外に出して干していました。



市街地についてはだいぶきれいになってきた様子でボラセンも8月31日（日）を持って閉所となり、生活支援に切り合わるようです。

【ご協力いただいた皆様】

・ 広和工業（有）様、鈴木一郎様、平松悦子様、竹内浩様、小川雅康様、田古正孝様、太田しづ江様、長尾衛様
ご協力ありがとうございました。

